

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
一の坂川周辺地区

平成28年3月

山口県山口市

# 1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	河川来訪者数	人/日	300	500	422	確定 見込み	△	あり なし	● ●	684	H27年11月	○	評価時、回遊ネットワーク上の拠点である一の坂川交通交流広場が工事中で歩行者等の回遊が発生しづらい環境であったため、評価値が低い。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	河川空間の整備、川沿いや商店街とを結ぶ道路整備等により、商店街と一の坂川を軸とした回遊性が高まった。また、一の坂川交通交流広場を整備したことで新たに回遊ネットワークが創出され、河川来訪者が増えた。
指標2	連絡道路利用者数	人/日	200	350	752	確定 見込み	○	あり なし	● ●	674	H27年11月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	米屋町中市町線および商店街と一の坂川を結ぶ米屋町1号線等を整備したことにより、商店街と一の坂川を軸とした回遊性が高まり、連絡道路の利用者数が増えた。
指標3	接道不良敷地率	%	25	0	0	確定 見込み	○	あり なし	● ●		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	米屋町中市町線(左岸道路)の整備により、接道不良敷地が解消され、未利用地の有効活用が可能となった。
指標4	広場利用者数	人/日	0	100	84	確定 見込み	△	あり なし	● ●	343	H27年11月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	広場整備により、隣接する亀山公園との連続性、一体性が創出され、中心市街地とパークロード周辺の回遊性が高まり、広場利用者数が目標値より大きく増加した。
指標5						確定 見込み		あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	整備後の施設(広場・道路等)の適切な維持管理	・施設管理者及び地域住民等による広場・道路等の維持管理の実施。 ・広場の供用開始にあわせて周辺住民が公園美化ボランティア支援事業に登録し、地区内の清掃及び除草等を実施した。	・公園管理者として、広場内の除草や樹木剪定等を行い、良好な広場環境が保たれ、市民の憩いの場を提供することができた。 ・地域住民が年2回の清掃等を実施することで、広場等施設への愛着が生まれ、美化に対する意識の高揚が図られた。	・今後も市と地域住民が連携して維持管理を行い、一の坂川沿いの景観の維持・向上に努める。 ・地域住民の清掃活動等への積極的な参加を呼びかけを続ける。
	市と地域住民との連携による施設の利活用促進	・市が主催するイベント(山口セタちようちんまつり、緑化祭り)の開催や、地元のまちづくり団体等によるイベント(都市緑化祭、クリスマスイルミネーション、おいでマルシェ、クリスマスマーケット)を実施。	・さまざまなイベントを実施することで、新規来街者の発掘と中心市街地の魅力発信に繋がった。	・今後もイベント等を通じて地域の魅力発信や交流を継続していく。
	拠点間の回遊性を高める取り組み	・情報発信施設内に地域のイベント情報や、一の坂川沿いの情報発信のための「まち歩き地図」などパンフレットを設置。	・イベント情報やまち歩き地図を設置することで、地区内の魅力や地域のイベント情報を発信することが出来た。	より多くの人にイベントに参加して頂けるように情報発信を継続することが必要。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	未利用地における利活用の促進	・未利用地を含む中心商店街の活性化として、地区内に商業施設・共同住宅の整備を実施。	・来街者のニーズに適合した商業施設や利便性の高い住宅を整備することで、中心市街地の魅力の向上、まちなか居住の促進に寄与した。	今後も中心市街地の魅力を情報発信していくことが必要。
	地区内における円滑な交通アクセス、交通安全の確保	・路線バスのバスベイ設置や観光バスの待機場整備を実施。	・商店街に近接したバスの待合環境が整備され、高齢者等の利便性、安全性が向上した。	市と地域住民が連携して、小学生や未就学児等に対する交通安全指導を行う。
	地区内外の回遊性を高める取り組み	・一の坂川交通交流広場の案内標識を設置。 ・一の坂川ほたる広場の会(地区住民)が中心となって、ほたる広場を利用したイベントを実施。	・案内標識を設置したことで、来街者等への施設の誘導・案内に効果があった。 ・季節ごとにイベントを実施し、多くの参加があり、整備された一の坂川の魅力を広めることができた。	・観光資源や周辺施設等の誘導・案内サイン計画を市と住民が連携して取り組み、来街者の回遊性を高める。
	バリアフリー化による商店街へのアクセス性や回遊性の向上	・中心商店街を含む周辺地区において、バリアフリーの観点からまち歩きを実施	・市民や障がいを抱える方々を招いて、道路や主要施設のまち歩き点検を行い、バリアフリーの課題を抽出することができた。	今後、市が主体となって中心商店街を含む山口駅周辺地区のバリアフリー基本構想の策定に向けて検討を進める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項